

平成28年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	28. 4. 27	ハム・ソーセージ 会 館	監事 5名	平成27年度収支決算等に関する事項
理 事 会	28. 4. 27	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 5名	平成27年度事業報告及び決算について 理事18名及び監事5名任期満了に伴う役員改選の件 総会提出議案について
理 事 会	28. 5. 24	愛媛県松山市 「松山全日空ビル」	理事 17名 監事 4名	事務組織規程の改正について 厚生労働省登録検査機関における業務責任者の変更について
第13回定時 社員総会	同 上	同 上	70名 (委任状による 出席46名を含む)	①平成27年度事業報告の件 ②平成27年度決算報告書承認の件 ③平成28年度事業計画報告の件 ④平成28年度収支予算報告の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥平成28年度会費及び徴収方法決定の件 ⑦平成28年度加入金決定の件 ⑧平成28年度借入金最高限度決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑩理事18名及び監事5名任期満了に伴う役員改選の件 ⑪常勤理事に対する退職手当の件
理 事 会	28. 8. 29	ハム・ソーセージ 会 館	理事 17名 監事 3名	社員の退社について
理 事 会	28. 10. 26	ハム・ソーセージ 会 館	理事 15名 監事 4名	JAS格付手数料の見直しについて
理 事 会	29. 1. 24	東京都港区「東 京會館」	理事 17名 監事 4名	経理状況報告について
理 事 会	29. 3. 30	ハム・ソーセージ 会 館	理事 15名 監事 4名	平成29年度事業計画及び収支予算(案)について

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
J A S 認 定 業 務 評 価 委 員 会	29. 3. 13	ハム・ソーセージ 会 館 他	委員 3名	本研究所の審査、認定及び意思決定プロセス の公平性について 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登 録 検 査 機 関 検 査 業 務 評 価 委 員 会	同 上	同 上	委員 3名	厚生労働省登録検査機関に係る業務の信 頼性確保について

2. 事業に関する事項

- (1)平成28年4月13日～15日の3日間、東京ビッグサイト東4ホールで開催された「2016食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS規格制度及びJASマークの紹介、当研究所の検査業務の紹介を行った。
- (2)平成28年5月17日、18日(独法)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)によるJAS法に基づく事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合は無く、登録認定機関としての体制が維持、運用されていると判定された。
- (3)平成28年5月24日、愛媛県松山市「松山全日空ホテル」において開催の第13回定時社員総会で、任期満了に伴う役員改選の結果、
猪口由美(新任)、岩崎充利、梅木 勉、沖谷明紘、金井俊男、菊地 令、清田種嗣、小森嘉之、塩島 勉、末澤壽一、竹田 清、南波利昭、服部昭仁、菱沼 毅、松井鉄也、松井陽樹、村井功誠、森田邦雄の18名が理事に、
小田木 毅、帯谷伸一、比嘉昌治、増井隆夫、宮島成郎の5名が監事に選任された。
次に役付役員の互選が行われた結果、理事長森田邦雄、専務理事猪口由美、代表監事帯谷伸一が選任された。
- (4)平成28年7月4日、役員の変更登記を完了した。
- (5)平成28年7月20日、厚生労働省関東信越厚生局より厚生労働省登録検査機関として定期監査を受けた。業務改善が必要な指摘事項はなかった。
- (6)平成28年度新規事業の取組みについて
 - ①精度管理のための技能評価試験((公社)日本食肉協議会の助成事業)
適切な検査がなされているかを確認したい検査施設を対象に、大腸菌群、亜硝酸根等の検査項目ごとに一定量を含む標準試料を配付し、検査結果を回収して、統計処理した結果を各施設に通知した。9月と翌年2月の2回実施した。
 - ②検査技術実技研修会((公社)日本食肉協議会の助成事業)
当研究所の試験検査室で、検査担当者への実技研修を8月と翌年1月の2回(2日間コース)行った。
 - ③食品を取り巻く行政情報等に関するゼミ
主に品質保証担当者を対象に、食品安全基本法、食品衛生法、食品表示法等に関するゼミを、4回シリーズで2回繰り返し開催した。
- (7)平成28年11月29日にISO17025審査登録機関であるペリジションソフトラトリ アクレディテーション インク(PJLA)による更新審査を受け、不適合・要観察事項は認められず、適正であると判定された。
- (8)平成28年12月1日、ホームページ(<http://www.shokunikukaken.jp/>)を刷新した。
- (9)平成29年3月1日～3月3日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第9回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。

(10)平成 29 年 3 月 30 日、兵庫県神戸市「神戸大学国際文化学部」において開催された第 58 回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。

3. 社員に関する事項（平成29年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
前期末現在	81	2	0	0	3	86
今 期 入 社	2	0	0	0	0	2
今 期 退 社	2	0	0	0	1	3
今期末現在	81	2	0	0	2	85

(注) 正 社 員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
 正社員丙：食肉加工を事業とする者
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) J A Sに関する業務

ア) 平成28年度における J A S 格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	122,052トン	4.0%増
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	26,060トン	5.1%増
ハンバーガーパティ	27,708トン	26.6%増
チルドハンバーグステーキ	1,696トン	1.3%増
チルドミートボール	0トン	—

イ) J A S 認定工場数（平成29年3月31日現在）

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
平成27年度末	95*	62*	3	4	0	164
認 定	0	1	0	1*	1*	3
辞 退	4	3	0	0	0	7
平成28年度末	91*	60*	3	5*	1*	160

*：外国製造業者1を含む。

ウ) J A S 認定工場は平成28年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、

臨時確認調査を1件実施しJAS認定工場としての適正性を確認した。

エ) J A S 証票表示包装等登録印刷工場はベーコン類等115工場、熟成ハム類等73工場、ハンバーガーパーティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール28工場、生産情報公表 J A S 1 工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	28. 9. 30	石山記念ホール(東京都渋谷区)	63名
	28. 10. 4	新大阪丸ビル(大阪市)	24名
品質管理責任者等専門講習会	29. 2. 2～3	アリアルANNEX(東京都品川区)	70名
格付検査担当者技能研修会	29. 2. 4	ハム・ソーセージ会館	18名

なお、(一社)日本農林規格協会主催の J A S 認定工場品質管理担当者一般講習会は3回開催された。

カ) 平成28年12月8日付でハンバーガーパーティ及びチルドハンバーグステーキ、チルドミートボールの認定の業務を行う区域を、ベーコン類等及び熟成ハム類等と同様に「国内」だけでなく「韓国、中国、タイ並びに台湾」に広げるため J A S 登録認定機関業務規程を改定した。

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 平成28年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りである。

区 分	一般依頼検査			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	6,949件	7,525件	596件	4,822件	19,892件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

(3) 平成28年度における研究発表

学会名	表題
第37回日本食品微生物学会	カビのリパーゼ産生能
第122回日本畜産学会大会	豚肉の熟成に伴う味の改善へのヒポキサンチンの関与

(4) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」及び「総合衛生管理製造過程に係る講習会」に技術協力した。

附 属 明 細 書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所